

大事協だより



大島地区公立小・中学校
事務職員協会 研修部
第 88 号
2025年3月26日発行

今回は、【瀬戸内町】より原稿と支援準備室だよりのデータを提供いただきました。

支援準備室だよりは大事協だよりと一緒に送信致します。

また、新規採用者の喜界小学校の重村先生と龍北中学校の山下先生、それから退職される笠利中学校の知花先生・内城小学校の赤谷先生からも素敵な原稿をいただいています。ぜひ、ご覧ください。

【瀬戸内町学校事務支援準備室・ 瀬戸内町事務職員部会紹介】



本町は加計呂麻島・請島・与路島の3つの離島を抱えており、町内に小学校単独校3校、中学校単独校1校、小中併設校7校が点在します。学校同士は海を隔て離れているものの、メンバー同士で日頃からミライムや電話等を用いて情報共有し、相互連携を図っているため、組織運営を円滑に進めています。

その一方で、過疎化による各学校の学級数減が年々加速しつつあり、事務職員定数の更なる減少も危ぶまれています。また、今年度は支援室そのものにも大きな動きがあり、有資格者の転出に伴い、支援室から支援準備室へ変わりました。

この変化についてメンバー全員不安を抱えましたが、これまでの活動を見直していくチャンスと考えるようにしました。初めに、各学校の管理職にも支援準備室そのものについて理解していただく必要があると考え、共同実施体制の成り立ちや、支援室及び支援準備室の違い等について、年度当初の共同実施協議会にて資料を提示し、説明を行いました。次に、準備室になり諸手当認定における決裁権が各学校長になることから、起案書の編集と同時に、様式やチェックリスト等の見直しも行き、今までよりも迅速且つ的確に手当認定事務が行えるよう、調整しています。他にも、昨年度に引き続いて管内研修視察（今年度は1泊2日行程）を実施し、1日目は同じ準備室である与論町学校事務支援準備室と一緒に研修を行い、2日目は異校種交流の一環として、与論高校の事務室で研修を行いました。

来年度以降、支援準備室及び部会の活動・メンバー構成等がどのように変化するか未確定な部分が多いですが、支援準備室として1年間を乗り越えた経験を活かし、持続性のある活動を進めていきたいと考えています。



新規採用者の紹介



喜界町立喜界小学校 重村 彩乃

こんにちは。今年度から新規採用として喜界町立喜界小学校に赴任いたしました、重村彩乃と申します。

気がつけば赴任してから1年近く経過し、不安いっぱいの中赴任してきた4月が懐かしく感じます。赴任当初は分からないことだらけで、1つ1つ目の前のことを終わらせることで精一杯でした。その際お忙しいにもかかわらず、直接学校に来て教えて頂いたり、支援室で小さなことでも一から丁寧に教えていただいたりと近隣の先生をはじめ、支援室の先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。また、島民の方や学校の先生方にも優しく声をかけていただき、本当にたくさんの方々に支えてもらいながら過ごした1年間だったと実感しています。

喜界小学校は子どもたちの明るい歌声や校庭から元気な声が飛び交う活気のある小学校で、毎日素敵な環境で仕事ができることを嬉しく思っています。まだまだ至らない点も多いと思いますが、喜界島での生活を楽しみながら一生懸命頑張りたいと思います。

龍郷町立龍北中学校
山下 佳子

こんにちは😊

今年4月から新規採用として龍郷町立龍北中学校に赴任しました山下佳子です！

大学では英語を専攻していたので、事務の知識もなく大丈夫かな？と不安な日々でしたが支援室の先生方を始め、多くの先生方のご指導の下少しずつではありますが日々の業務をこなすことができるようになってきました。

最近では、生徒とコミュニケーションを取る余裕も出てきて毎日楽しく過ごしています。龍北中の生徒は全校生徒8人と少人数ですが元気いっぱいです☺️昼休みや給食前のちょっとしたおしゃべりタイムで日々パワーをもらっています！！ただ、毎日のようにメイク・ネイルチェックをされるので指先まで気が抜けません笑

気がつくとなつという間に12月になってしまいました。4月当初は分からないことだらけでたくさんご迷惑をおかけしましたが、今後はより一層成長できるよう、多くのことを学んで一日でも早く一人前の事務職員になれるよう精進して参りますのでよろしくお願いたします。

退職される皆様より

和泊町立内城小学校
赤谷 幸



4年間大島地区で大変お世話になりました！
人生初めての離島&育休明けの不安で押しつぶされそうな日もありましたが、温かい支援室のメンバーのおかげで日々の業務をこなすことができました。真面目な話をした事も思い出しますが、一番心に残ったことは、地区研修会後に一部の沖永良部メンバーでカラオケに行ったことでしょうか。初めて20歳以下お断りのパブに行き、周囲の映像や写真等にドキドキ。世代を超えて、「歌」で一つになった瞬間でした。歌い終わる度に祝杯？何度行ったかわからない程乾杯し、解散は10時すぎでした。これが出張での醍醐味なのか…！？と興奮冷めやらぬ楽しい夜を過ごしました。

プライベートでは、家族で沖永良部の海やじゃがいも生活を満喫すること（5月は毎日のように食べていました！）ができ、とても楽しい時間を過ごすことができました。沖永良部に赴任して良かったなとしみじみ感じています。

令和6年は、輪番で理事になったこともあり、大島地区の事務職員のためにいろいろとお世話をしてくださる執行部の方とお話する機会ができたことも、とてもいい経験になりました。憧れの方ができ、今後の目標にもなりました。

楽しかった思い出を胸に、新天地でも頑張りたいです。短い期間でしたが、本当にありがとうございました！

奄美市立笠利中学校
知花 和則

大島地区に異動してきて15年の月日が流れました。大事協の皆さまには大変お世話になりました。

この度本年の3月31日をもって退職する事にいたしました。昨年より定年延長の制度が始まり、本来ならば62歳で定年退職となるころでしたが、採用当時60歳までと決めていた事、今からの第2の人生を考えた時、スタートは1年でも早い方がいいと思った事、元気で体が動くうちに好きな事を始めようと思った事、いろいろ考えましたが、この3点の理由で定年を待たずして60歳で定年前退職を決断しました。家族からは定年延長から65歳までの暫定再任用までをすすめられましたが、昔から決めていたと説得しました。

思い起こせば、事務職員になってから様々な経験させてもらいました。7校勤務し、それぞれの地域に居住した事も転勤族である学校事務職員でよかったと思える事の一つでした。働く学校の環境はここ25年で大きく変化してきたと感じます。手書きで書類作成、給与は現金支給という時代からパソコン・インターネットが普及し、タブレットで会議する時代になり、毎年のように制度が変わり、システムも変わる。理解していくのも一苦労だと感じていました。

大事協としてもこれからますます発展し事務職員の皆さまが協力しあって楽しく活動し、難題を乗り越えますように祈っております。本当にありがとうございました。

今後の大事協だよりについて

次号89号は、令和7年7月上旬に発行する予定です。3月中に編集依頼を現理事さんに流すので、もし交代する場合は確実に引継ぎをお願いします。内容等の詳細は、編集担当理事さんに送信する別紙活動計画案をご覧ください。

最後になりますが、今年度作成に関わった全ての皆様にご挨拶いたします。ありがとうございました。